東日本大震災復興に向けた取組みについて

Kiravaka Bank

当行では、東日本大震災により直接被害、間接被害 を受けられた企業の皆さまの復興支援に積極的に取 組んでおります。

1. 震災復興支援に係る融資取組み状況

平成24年3月末までの震災復興に係る融資の取 組み実績は以下の通りとなっております。

①直接被害を受けた企業に対する貸出金

29億円 113件

②間接被害を受けた企業に対する貸出金

1.038件 252億円

合 計 1,151件 282億円

2. 震災復興関連の課題抽出件数及び 成約件数

当行では全営業店において「本業支援(お客さまの 話をお聴きし、企業の問題点・課題等の解決に向けて 当行全体で取組む)」をキーワードに、ビジネスマッチ ングや財務面の改善指導等積極的にスピーディーな対 応を行っております。

ヒアリングによるお客さまの課題の抽出件数は 631件、そのうち、その課題解決のために対処したビ ジネスマッチング等の件数は159件となりました。

3. 専門部隊による被災地企業ニーズへの対応

仙台地区においては、取引先の被災状況や事業継 続にあたっての事業計画作成支援の復興支援業務に

ついて、平成23年10月より10名の専門部隊「営業 統括部、中小企業融資推進室新規開拓グループ」を 配備し、被災地の現状を踏まえ、高齢者対応施設関 連、建設工事関連、物流・倉庫業関連に業種を絞り、 積極的な融資取組みを図っております。

また、きらやかお客さまサービスステーション(当行 テレフォンセンター) による仙台地区への電話ヒアリン グも継続実施しており、被災地企業のニーズに積極的 に対応しております。

4. 仙台銀行と連携した復興支援

当行は、仙台銀行と平成23年6月に「連携に係る 契約 | を締結し、情報共有及び支援ニーズのマッチン グ等を図っております。現状、当行、仙台銀行のお客さ まからの要望、支援ニーズの情報87件を共有してお ります。今後も両行において、取引先の情報のマッチ ング等を積極的に行い、復興支援の一翼を担ってまい りたいと考えております。

5. じもとホールディングスとしての復興戦略

当行は本年10月に仙台銀行と共同で持株会社を設 立し経営統合する予定であります。新金融グループと して、両行の力を結集し、両県の人・産業・情報を"つな ぐ"ことで、地域経済の活性化を図っていくとともに、 大震災からの復興支援に全力で取り組んでまいります。

じもと復興戦略

被災地の金融グループとして 両行の力を結集し、大震災からの復興応援に 全力で取り組みます。

- ◆資金供給機能の強化◆
- ·震災復興融資枠の検討 ·両行協調による大口資金への対応
- ◆事業再建サポートの強化◆
- ・被災地で抱えている様々な問題を隣県である 山形からサポート (人手不足への対応、販売先・仕入先の紹介等 ・両行のノウハウ融合及び連携による事業再生

被災地の現状・課題

二重ローン問題 農業・漁業の甚大な被害 医療・介護・福祉施設の不足 観光客の減少、販売先の被災 材料調達難など

- ◆復興応援イベントの開催◆
- 宮城の特産品等を山形に紹介 山形での復興市の開催等
 - ◆外部機関との連携強化◆
 - 宮城産業復興機構・東日本大震災事業者 再生支援機構との連携
 - ◆生活再建サポートの強化◆